

# サウンドパフォーマンス・ プラットフォーム

Sound Performance Platform

2015.3.11 Wed **contact Gonzo**

つむぎね

井藤 雄一

今村 達紀

SCSCS

藤田 将弥

3.12 Thu 19:00 - **フォルマント兄弟 with 岡野勇仁**

クリストフ・シャルル & 柴田 聡子

Flat Sucks + 市川まや

野老 真吾

真都山 みどり (エムエム研究室)

**愛知県芸術劇場小ホール**

**Aichi Prefectural Arts Theater Mini Theater**

主催：愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）

「コンサート」ではこぼれ落ちてしまうような前衛的な音楽作品や、台詞や身体表現を伴う作品など、ひとくくりにはできない新たな音のパフォーマンス、それが「サウンドパフォーマンス」です。今回は、ゲストとして登場する4組のパフォーマーに加えて、公募から選ばれた7組が、2夜に分かれて登場します。音にまつわる自由な発想。規範にとられない表現形態。新しい音の世界にお気に入りのアーティストを見つけ出せるかもしれません。

## サウンドパフォーマンス・プラットフォーム

2015.3.11(水), 12(木) 両日とも19:00開演  
愛知県芸術劇場 小ホール

チケット:

一般2日通し 4,000円 一般単日 2,500円

学生(25歳以下) 単日 1,000円 (入場整理番号付き自由席)

取扱い:

愛知芸術文化センター内プレイガイド 052-972-0430

(平日10:00-19:00 土日祝10:00-18:00 月曜定休、祝日振替休日の場合は翌日振替)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード254-465) <http://t.pia.jp/>

○サークルK・サンクス、セブンイレブンでもご購入いただけます。

### 3.11(水)

★contact Gonzo

★つむぎね

井藤雄一 [fmiDms]

今村達紀「閑話話法」

scscs「ら せんかい てんでんてん」

藤田将弥 [It's Automatic]

### 3.12(木)

★フォルマント兄弟 with 岡野勇仁

★クリストフ・シャルル & 柴田聡子

Flat Sucks + 市川まや「世紀末大運動界 シューベルト[魔王]」

野老真吾「大きい楽器による小さい音のための【私を寝かせてください】」

真都山みどり(エムエム研究室)「野生の森～即興ピクニックvol.2」

主催・問合せ:

愛知県芸術劇場 (公益財団法人愛知県文化振興事業団)

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2

TEL 052-971-5609 (10:00-18:00)

aaf01@aac.pref.aichi.jp

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>

○未就学児の入場はご遠慮ください。

○演奏者等やむを得ない事情により変更になる場合があります。

★ゲスト・アーティスト

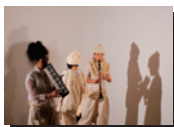
3.11(水)



contact Gonzo

(コンタクト・ゴンゾ)

2006年塚原悠也と垣尾優により結成。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や映像、写真作品を制作。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、小林正和。あいちトリエンナーレ2010、国立国際美術館「風穴」展(2011)、ニューヨーク近代美術館(MoMA)、京都国際舞台芸術祭2014ほかに出演。セゾン文化財団助成対象アーティスト。トヨタコレオグラフィーアワード2014ファイナリスト(塚原悠也として)。



つむぎね

TSUMUGINE

2008年宮内康乃を中心に発足した音楽パフォーマンスグループ。個々が音の一つの粒子となり、ぶつかり合い、変化、融合することによって空間上の響きを紡ぎ出していくパフォーマンスを展開。2008年度トーキョー・エクスベリメンタル・フェスティバル最優秀賞受賞。

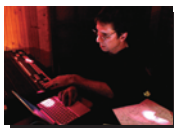
3.12(木)



フォルマント兄弟  
with 岡野勇仁

Formant Brothers  
with Eugene Okano

フォルマント兄弟は、三輪眞弘(兄)と佐田田展康(弟)という父親違いの異母兄弟によって2000年に結成された作曲・思索のユニット。テクノロジーと芸術の今日的問題を《声》を機軸にしながら哲学的、美学的、音楽的、技術的に探求し、21世紀の《歌》を機械に歌わせることを目指す。岡野勇仁は、フォルマント兄弟の合成音声歌唱作品をMIDIアコーディオンやMIDIキーボードで演奏している世界でも唯一の演奏家。深川芸術祭主宰。リサイクルから紙芝居まで多彩な活動をおこなう。



クリストフ・シャルル & 柴田聡子

Christophe Charles & Satoko Shibata

クリストフ・シャルルは、メディアアートを専門に、現代芸術における理論的・歴史的な研究を行いながら、国内外・空間を問わずインスタレーション及びコンサートを行い、それぞれの要素のバランス、独立性及び相互浸透を追求。主な作品には、東京成田国際空港第一ターミナル中央アトリウム常設サウンドインスタレーションや、大阪市住まい情報センターモニュメント音響(山口勝弘監修)、作曲やコンサート活動のほか、ダンス、ミュージシャン、造形作家とのコラボレーション多数。柴田聡子は、2010年より都内を中心に活動を始める。ヴォイス、ギター等を用いて、アルバム制作、ライブを行う。自主レーベル「shibata satoko」にて「いじわる全集」を発売。